

文：岡本 悠

美しさに魅かれて

窓際のトットちゃんは

オシャレな服に

茶髪の

ポニーテールで

働いている

いつも

窓際で

仕事を

している

診察が終わると

待合室のイスから

眺める

見つめる

飽きることはない

美人だ

透明感がある

ビーズの「ギターは泣いている」が響いた

俺にとって

君は

ただ、見るだけの人だ

もし

お会計があれば

その時は

お世話になるかもしれないけど

神がやってくれるから

大丈夫だろう

当たり前だけど

総合的に考えて

見ているだけが

一番

何も起こらないし

誰も傷つかないし

だれも不愉快にならないし

そんな度胸も

持ち合わせていないよ

プチ恋というのは

儚いよね

憧れだけでおわる

まるで

バックナンバーの曲のように

遠くから見ているだけ

こうして

家の中で

小説を打ちながら

あの顔を

姿を

思い浮かべているだけ

具体的に始まると

面倒だけど

恋してる状態って

幸せかもしれない

美しいとかさ

綺麗とかさ

かわいいとかさ

どのように形容しても

素敵だよ

君は

ダレノガレ明美

的であり

警察のポスターの女の子

的であるんだ

君は

気が強いかもしれない

俺が

会計で

失敗したり

おかしい質問をしたら

軽蔑されるかもしれない

そうしたら

嫌いになっちゃうかもしれないだけ

第一、踏み込めないけど

踏み込まないとは

そのように

適度な距離を保つ

ということなんだ

優しければ

もっと

もっと

困るよね

ずっと、この愛が続くからね

勝手に

好きになる権利があれば

嫌いになる権利があるから

救われるよ

でも、君は

俺のことなど

なんにも知らないんだよ

青い炎のように

燃えている火の中で

それすら

もう、好きだという

土俵に入ることすら

面倒になってしまった

億劫になってしまった

いい対応をされたから

嬉しいです

それで...

という感じだ

手応えが欲しいんだろう

「僕なんか」だ、日向坂 46 の

理想の高い俺は

理想を下げることはできない

君クラスの女の子じゃないなら

1人でいいよ

君のことじゃないかもしれないけど

安らぎを求めてる

優しさを求めてる

美しい敗残者で終わることも

しょうがないよ

男女

余り物同士でくっついても...

朝、起きた時、キミの顔だったら

最高だ

美人だったら

でも、違ったら嫌だよ

きっと あまりに 長くひとりで 生きてきたせいだろう

片想い (歌詞違いバージョン) 浜田省吾

だから、俺、ほんとうの恋なんて求めてないかもね

はなはだ、理想が高いし

面倒臭がり屋だし

どう付き合っていけばいいかも、わからない

そんな時、浜崎あゆみ、の歌詞に出会う

あなたのこと必要と している人はきっと 必ずひとりはいるから



ディペンド・オン・ユーである

俺に合う人なんて、いるだろうか？

窓際のトットちゃんは綺麗だからいいだろう

それだけのことじゃないか

で、

待ち合い場所の席から

眺める

たった、それだけの恋

1年に1回くらい会計をするかもしれない恋

好きになりきれない理由は

端に、嫌われるのが怖いから？

見つめていたいけど

恋愛ゲームが、馬鹿らしくなっちゃったな

要するに

窓際のトットちゃんとは

診察の日の

1 か月か、5 週間に、1 回だけの

わずか、待ち合い室で、見つめるだけの、楽しみの存在

それくらい、割り切ればいいんだけど

俺の好きな女性ランキングには、入るんだ

美しいっていいよ

やっぱり

飽きないから

幸せな気持ちになるじゃん

でも、恋人にはなれないな

プチ恋で終わりだよ

諦めろと呟くだけ

それでも俺は見るよ

気持ちが変わらない限り

いてくれる限りはね

もう

どうでもよくなってはいたが

あの、面影だけが、チラついていた、俺は女性を愛せなくなっていた...

「完」